



小規模事業者持続化補助金活用

どんなことでも気軽に相談出来る
「ほのぼの」の言葉に込めた不動産



ほのぼの不動産
代表 野村 信幸さん

誰からも気軽に頼られる不動産店を目指している。少子高齢化、人口流出の続く地方だからこそ、高齢者の困りごと、将来、相続問題に発展する案件を未然に防ぐ取り組みなどに力を入れている。

土地建物の売買はもちろん、イン審査や火災保険関係、家の建築、修繕、解体の相談をはじめ、他の専門職と連携しての相続・終活・登記相談など、どんなことでも気軽に相談できると大人気。

野村さんは周南市出身。結婚して戸田に住み、二人の子どもの父親。「子どもたちの故郷で、街並みをつくり、故郷のためになる仕事にはやりがいがある」と宅地建物取引士として、夢を持っている。店舗に入ると子どもたちの絵が飾られている。宅地の造成にも携わり、道路幅員の広さは造成地の物件価格上昇にもつながる。「この地で子育てをする人には道路整備、そして資産価値向上は重要」と話す。

「押し売りは苦手」と話す野村さん。お金にはならないが、困りごとの相談にも手を抜かない。「かならず専門業者と現地を確認した上で見積もりを提出し、了承を得てから工事に着手する」と情熱を傾けている。



■ほのぼの不動産
〒745-1131
山口県周南市戸田1409-15
tel.080-3898-2103
heta@honobono2103.com

全国的に少子高齢化や独居老人の増加などにより、土地問題は複雑化している。「将来予想できる相続トラブルを未然に防ぎたい。心配のある方はどんなことでも相談して欲しい」と呼びかけている。大切にしているのはスピード。相談を受けると最速で取り組む。「待たせることで、相談者は無駄な時間を過ごすことになる」と話し、調査をはじめ明朗会計にするためにも、連携している仲間が見積もりを作成するときに立ち会い、顧客の依頼と要望を説明し、勘違いや無駄な金額がからまない仕組みづくりをしている。

野村さんは「独立してすぐに新南陽商工会議所に入会した。記帳指導などでサポートしてもらっている。今回、持続化補助金の申請は商工会議所の方がいなければ、できなかった」と感謝している。

ほのぼの不動産の名前はやさしい響きで選んだ。「あそこに頼めばなんとかなる」と頼られる商売をしていきたいと目を輝かせている。